

リ サ イ ク ル 計 画 書 (積算段階)

工事担当者が作成し、設計書に添付

1. 事業 (工事) 概要

発 注 機 関 名	千葉県市原土木事務所	工 事 名	舗装道補修 (石油貯蔵交付金) 及び県単舗装道路修繕合併工事 (五井西)
施 工 場 所	一般国道 2 9 7 号 市原市五井西	工 期 (予 定)	1 0 0 日間
工 事 概 要 等	工事延長 L = 2 6 0 m W = 6 . 9 m ~ 1 0 . 2 m 切削オーバーレイ A = 2 , 2 6 6 m ² 表層 (車・路) A = 2 , 2 7 0 m ²		

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材	① 利 用 量	② 現場内利用量	③ 再生材利用量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③) / ① × 100	備 考
土 砂	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	570.3 トン	トン	570.3 トン	トン	100 %	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ アスファルト混
 ※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	⑥ 発 生 量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤードへの搬出量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥) × 100	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩) / ⑥ × 100	備 考
建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
第1種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
第2種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
第3種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
第4種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
泥土 (浚渫土)	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
合 計	地山m ³	地山m ⁴	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
アスファルト・コンクリート塊	533.0 トン	トン	トン	533.0 トン	—	0 %	100 %	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設混合廃棄物	トン	トン	トン	トン	—	%	%	

※ 建設発生土の区分 (既存資料から判断するものとする)
 ①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。 ④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)
 ②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。 ⑤泥土 (浚渫土)・・・浚渫土のうち概ね q c 2 以下のもの。
 ③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。
 ※ 建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。
 ※ 建設汚泥、建設発生木材及び建設混合廃棄物の「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。
 ※ 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。
 ※ 「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。